レッスン：SPA.No.7

テーマ：五芒星/部屋/小さなピラミッド

SPA.No.7 DOC/K5/8/SE

私の姉妹兄弟たち、

スピリット、光、火の子供たちよ。私たちは常に神、絶対、神の聖性に抱かれています。

エクササイズ：SPA.7/No.1

白色の自分自身をイメージし、自分の形の境界を感じてください…また、五芒星のなかで守られている自分をイメージします…あなたは五芒星のなかにいます…五芒星の輝きはあなた自身の白色のバイブレーションと全く同じというわけではありません。五芒星の輝きの方がより強く、あなたはその五芒星の輝きのなかにいます…あなたはこの輝きによって守られています。

さて、今あなたは霧のような、非常に厚いもやのようなものに包まれています。しかし、あなたは全く影響を受けていません…なぜなら五芒星の守護のなかにいるからです…この濃い霧があなたの身体に触れているようには感じていません…しかし、あなたの視覚は遮られています…このもやのために先が見えません…周囲が見えません…自分がどこにいるのかわかりません…考えはあります…しかし、実際にそれを体験することができません…自分がどこにいるのか体験することができません。

さて、この霧が少しずつ、少しずつ消えてゆくことを願ってください…そうです、霧は少しずつ徐々に消えていき…今あなたは自分のいる場所がわかり始めています。

あなたは四つの壁、天井と床のある部屋の中にいます…部屋の大きさは左右の壁に五芒星の先が触れるくらいで、五芒星の頂点は天井に触れています…あなたは床に立っていますが、左右の足に位置する五芒星のポイントは地面のなかに入っています。あなたは全身白色で…さらに、五芒星の純白のなかにいます…そして、同時にあなたはこの部屋の中央に立っています。

さて、あなたの前方の壁から白い輝きがあなたに向かって来るのが見えます…そしてその輝きは身体の前面からあなたの身体に入ってきます。あなたの右側の壁から赤の輝きがあなたに向かって来て、身体の右側に触れ、あなたの身体に入ってきます。あなたの背後の壁からはホワイトブルーの輝きがあなたに向かって来て、あなたの背中に触れ、身体に入ってきます。次に、左側の壁からはウルトラ・バイオレットの輝きがあなたの方にやってきます…あなたの身体の左側に触れながら身体に入ってきます。今や部屋全体は四つの色の輝きで満ちていますが、それらの色が混じりあうことはありません。

今や、部屋は四つの三角形に分けられています…これらの輝きがあなたの身体に入る際にそこには境界がありません…五芒星のゆえにそれらの輝きはあなたの身体に入ることができます。その理由は、それらの輝きはまたあなたの身体のなかにもあり、実際には内側にあるそれらの輝きが表面に出てくるように助けているのです。それらの輝きがあなたに影響を及ぼすままにさせておきます…あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

私たちは常に神、絶対、神の聖性によって抱かれています。

* ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

私たちが創造した部屋の大きさはそのつど異なることに気がついたかもしれません。以前は、私たちの墓を意味する部屋はずっと小さいものでした；今や部屋は大きくなり五芒星がなかにあります。私たちが進むそのやり方には理由があります。言うまでもなく、私たちが今行うこと全ては現在のパーソナリティーによる創造です。例えば、濃いもや、霧も私たちの創造です。それゆえに、私たちは簡単にそれを消すことができるのです。それは私たちが無知のなかにいる状態とは違います。今私たちが何を行おうともそれは私たちの創造です。それを行う理由は、私たちが自分の墓から出た後、そして墓から地面の表面までの距離を旅する間に出会うあらゆる怪物に直面するために必要な助力、ツールを獲得するためです。なぜなら、墓は地面の深いところにあるからです。私たちは今そのためのツールを得ようとしているのです。

Page2

質問：私にはなぜ墓が地面の下にあるのか理解できません。

Ｋ：無知の状態にある間、人間は土のなかにいて、地にフォーカスしています。それゆえに私たちは地下からスタートするのです。人間がいわゆる潜在的意識のセルフ・エピグノシスを表現している間は、地面のなかにいます。私たちはいわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを表現し始めるレベルに到達できるよう、努力するのです。勿論それは、私たちがただちにそのようなセルフ・エピグノシスを表現するということではありません。スタートをし、このポジションから真のワークが始まります。そこに到達するまでには多くのワークがあります。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

エクササイズ SPA.7/No.2

真っ白な自分をイメージし、自分の形の境界を感じます…白い五芒星のなかで守られている自分を見ます…あなたは四面ピラミッドのなかにいます…四面ピラミッドの真ん中に立っています。このピラミッドは今新たな大きさになります…サイズが大きくなっており、五芒星がその中に入ることができます…五芒星の左右の先は丁度ピラミッドの両サイドに触れています…左先はピラミッドの左側の壁に、右先は右側の壁に触れ、下の二つのポイントは地面のなかに入っています…あなたは四面ピラミッドが置かれている床、地面の上に立っています…あなたは四面ピラミッドのなかにいて、同時に五芒星の守護のなかにいます。

さて、この四面ピラミッドは部屋のなかにありますが、その部屋はピラミッドの頂点が部屋の天井に触れる大きさです…ピラミッドの底面は部屋の床の上にあります…さて、あなたの前面から…白の輝きが部屋の壁に入り、前の壁のもう一つの白の輝きとひとつになります。同じことが、四面ピラミッドの他の三つの面にも起こります…あなたの右側の面から赤い輝きが部屋の右側の壁に向けて輝き、ピラミッドの輝きと部屋の右の壁の輝きがひとつになります。背後の面でもホワイトブルーの輝きが部屋の壁の輝きとひとつになります…また左側のウルトラ・バイオレットの輝きも部屋の左側の壁に向けて輝き、壁の輝きとひとつになります。

ですから、ピラミッドから部屋の壁に向けて四つの色の輝きがあり、部屋の壁からもピラミッドに向けて輝いており…双方からの輝きはひとつになっています。四つの色の輝きが混ざり合うことはありません。

あなたは全体が白で、さらに五芒星の純白のなかにいます。そしてあなたの前面にあるピラミッドのサイドの白、そしてあなたの前の部屋の壁の白が前からあなたに触れています。しかし、これら純白の様々な輝きが混ざり合うことはありません…なぜなら、それらの白の輝きのバイブレーションがそれぞれ異なるからです。

あなたは純白を見ていますが、純白の輝き以外は何も見えません。それでは、右に90度回るとあなたは赤の輝きに面しています…この赤の輝きに自分自身を開き、それによってあなたのなかに存在するミカエルと同調するようにします。さらに右に90度回転し、今あなたはホワイトブルーの輝きに面しています…同じように、この色の輝きに自分自身を開き、それによってあなたの中にいるガブリエルと同調します。左に180度回転し、再び純白の輝きに面しています。さらに左に90度回転し、今ウルトラ・バイオレットの輝きに面しています…自分自身を開き、この色の輝きの影響を受け入れます…それによってあなたのなかにあるラファエルと同調するようにします。

それでは右に90度回転し、再び純白の輝きに面しています…この輝きに自分自身を開きます…それによって、あなたは自分自身を理解しようとします…自分自身をもっともっとあなた本来のセルフから表現するようにします…そのためにはまず現在のパーソナリティーとしてのあなたの弱点、欠点を認識する必要があります…さらにあなたのなかで行われる他の三つのアークエンジェルのオーダーのワークについても理解する必要があります…それを認識するために、自分自身を開いてあなたのなかにいるウリエルに自分自身を同調させることができるようにします。現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

私たちは常に神、絶対、神の聖性に抱かれています。

* ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

Page3

質問：色の境界が混ざり合うことはありますか？

Ｋ：境界はありません。例えば、前面のピラミッドの壁から輝きが放射されますが、この輝きは部屋の前面の壁からの類似した輝きとひとつになります。

質問：それではまだ一つの色だけを見ているのですね。

Ｋ：そうです。その後で、別の色を見ます。他の全てのサイドでも同じことが言えます。この大きな部屋は墓を意味しています。この小さなピラミッドは現在のパーソナリティーが個人のために創造するものであり、私たちが地上に到達したときにその中に立つ大きなピラミッドとは異なります。

質問：まだ自分自身を純白としてみることができますか？

Ｋ：勿論です。色、輝きが互いに干渉したり、混ざり合うことは全くありません。それらの色が混ざり合うことなしに、同時に全ての色を見ることも可能です。それゆえにこれまでのレッスンのなかで、運動、感覚、刻印というエーテルの質をマスターするためにエクササイズを十分に行う必要があると述べたのです。それに向けて、これらのエーテルの三つの質をマスターするためにエクササイズを十分にする必要があります。

質問：前回このエクササイズを行ったときには、ピラミッド、部屋の壁に霧がありました。今回は部屋の壁の輝きがピラミッドの側面の輝きとひとつになりましたが、その目的は何ですか？

Ｋ：辛抱強くあらねばなりません。というのも、徐々に少しづつその理由がわかってくるからです。それは言葉で説明することではなく、体験することです。理由を説明するかわりに、あなたが体験して理由を知る必要があります。努力が必要です。私たちが霧を創造するか否か、繰り返しますが霧も私たちが創造するものです。そして続けていくうちに、あなたはただそれを想像するのではなく、実際に自分の周囲に霧を体験するでしょう。

あなた自身の白は同じバイブレーションのままです。前に述べたように、五芒星は保護シールドであり、同時に乗り物です。意味のなかにあると言うとき、それはどういう意味でしょうか？現在の所、空間の意味のなかで一つのポイントから他のポイントに移動するためには、そうするためにはそれを築く間、この乗り物に特別な意味を与える必要があるでしょうか？本当は、それを築く間にその意味を与える必要はありません。なぜなら、それはこの五芒星の素質的可能性のサイクルの中にあるからです。必要なことは、現在のパーソナリティーが五芒星の特定の能力にフォーカスすることです。勿論、将来あなたはこれを徐々にゆっくりと体験していくようになります。そうです、五芒星は現在のパーソナリティーに多くの能力を提供します。これらの能力は、他のいくつかのエクササイズを行うことによって、現在のパーソナリティーに与えられる他の能力と一体になります。それらの能力は現在のパーソナリティーが地面のなかであらゆる怪物たちと直面するときに役立ちます。そうです。しかし、それら全ての能力は何の結果として得られるのでしょうか？そうです、エクササイズです。しかし魔術としてのエクササイズではありません。気づきを高めるために役立つエクササイズです。

五芒星の使用は、現在のパーソナリティーの本当の、真のレベルの現れを示すわけではありませんが、それでもこの五芒星を創造する能力に到達するためには大きな気づきの上昇が必要です。ですから、怪物たちに直面するためにこれら全ての能力を現したいのなら、本当にワークを行う必要があります。でも聞いてください、私たちは今エゴイズムの怪物たち、エゴイズムの様々な局面に直面するわけではありません。私たちが大きな四面ピラミッドに入る時、気づきの上昇の結果としてもっともっとパワーを表現するようになる時、四面ピラミッドのなかでいわゆる火の洗礼を始める時に、そのワークを始めます。

Page4

質問：もしこの瞬間に私たちがパーソナリティーの周りに五芒星を創造して防備するなら、同時にエゴイズムの異なった局面である無知をも囲うことにならないのでしょうか？

Ｋ：私たちは今エゴイズムの局面と闘うことに興味を向けていません。というのも、もし戦うなら勝利を収めるのは私たちの低次のバイブレーションのパーソナリティーだからです。実際、私たちには二つの現れがあります。私たちの中には二元性があるのです。ひとつのセルフは成長することを望み、もうひとつのセルフは今いるところに留まることを欲しています。もし成長を望んでいる方のセルフに必要なツール、能力を提供しないなら、勝利を得るのは自分のいるところに留まることを願う他方のセルフとなるでしょう。成長を望むセルフを進化させる必要があります。その結果、現在のパーソナリティーがヘラクレス（＊不死を得るために12の功業を遂行したギリシャ神話最大の英雄）になります。しかし、ヘラクレスとして戦うのではなく、その時現在のパーソナリティーはとても強くなっているので戦わずしてエゴイズムの様々な局面を殺すことができるようになるのです。もし現在のパーソナリティーが戦争を仕掛けて殺そうとすると、勝利者はあらゆる弱点、欠点のある現在のパーソナリティーとなるでしょう。

ですから、私たちはまずいわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを現しながら四面ピラミッドのなかに立つ必要があります。そしてそのポジションから真のワークがスタートするのです。私たちは意識的に生き始めるようになるでしょう。そのポジションから、私たちのなかにいる他のアークエンジェルたちとの完全な同調を試みるのです。それらのアークエンジェルたちは初めから私たちに同伴しているのです。そして勿論、ゆっくりと徐々に現在のパーソナリティーの不定形な体を再形成することに向けてワークし、より高いレベルの意識的意識のセルフ・エピグノシスを表現し、最後にはエゴイズムの諸局面を殺すことができるようになるのです。それが達成された時、勿論それはいわゆる超意識的意識のセルフ・エピグノシスの始まりとなるでしょう。そのポジションから火の洗礼が始まります。辛抱強く、忍耐が必要です。

質問：ヘラクレスになるプロセスのなかで、同時にエゴイズムの様々な側面をマスター、あるいは殺すポイントに到達するのではないのですか？ですから、ヘラクレスとなる時には何も行う必要はないのではないでしょうか？

Ｋ：しかし、もしあなたがそれを試みても、墓から出なければ、あなたはそこで現在のパーソナリティーによって抑えられてしまいます。現在のパーソナリティーと言うとき、それは現在のパーソナリティーのあらゆる弱点、欠点のことです。

質問：私はヘラクレスになるプロセスにおいて、ヘラクレスになるポイントに到達する時には、と述べたのですが。

Ｋ：いいえ、あなたはエゴイズムの様々な側面に触れることはしません。あなたがする唯一のことは、あなたが表現していることすべてに理由を与えようとすることだけです。例えば、あなたがしていることに対する判断を通じて、自分の表現に理由を与えるのです。あなたはそれをいかにして行うができるでしょうか？私たちはそれを何回も説明してきました。物差し、基準としての物差しを持ち、日常生活のなかであなたが表現していることすべてをその基準、物差しで比較することによってです。それが唯一の方法です。

質問：それは私たちが意識のセルフ・エピグノシスを持つときでしょうか？

Ｋ：違います。このワークは私たちが潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスの状態にいるときに行います。

質問：しかし、もし潜在意識的、無意識的であれば、わからないのではないですか？

Ｋ：違います！あなたの中の自分の実在がそれで良いと知っています。

質問：はい、でも自分というものを意識していないのではないですか？

Ｋ：意識的になるというのは努力が必要です。もしあなたが何が間違っていて何が正しいかを意識していれば、間違ったことはしないでしょう。それについて考えてみてください。

質問：それはあなたが経験による意識的セルフ・エピグノシスではなく、意識的セルフ・エピグノシスだけを有するからですか？

Ｋ：意識的セルフ・エピグノシスというのは気づきのレベルの結果です。実際それは気づきであり、意識の結果としてセルフ・エピグノシスの様々な表現を示します。なぜなら、限界のなかに取り込まれているセルフの一部分は、私たちのなかの生のスパークとしての一部分だからです。それは意識です。なぜなら、もしそうでなければ、そして現在のパーソナリティーを活性化するスパークがその特質を完全に表現しているなら、私たちが無知のなかに取り込まれてはいないからです。ですから、無知に取り込まれている一部分は現在のパーソナリティー、意識を活性化するスパークなのです。それゆえに、私たちの意識の表現には様々なレベルがあるのです。そして、その結果、様々なレベルのセルフ・エピグノシスがあるのです。それら様々なレベルのセルフ・エピグノシスが個別性を獲得する能力であり、それが徐々に自己実現の現われに向けて導いていくのです。

Page5

質問：現在ピラミッドの下で行うワークは、大きなピラミッドのなかに立つことが出来るようになるために必要なものを得るためでしょうか？

Ｋ：そのために私たちは行っているのです。地のエレメントのなかで移動しようと試みています。残念ながら、過去においてこれは知られていませんでした。彼らは墓をピラミッドの底部につなげるためにトンネルを創造しようとしました。ほとんどの努力は大きな四面ピラミッドのなかから行われました。しかし、実際には地面のなかにいるのに、どうしてピラミッドの中からスタートすることができるでしょうか？彼らはピラミッドの下に部屋があることは知っていたのですが、墓から出るためにどうしたらよいかを知らなかったのです。そして、私たちは今それをしようとしているのです。たくさんのワークが必要です。誰もがこの場所からスタートします。誰もが初めは墓のなかにいます。そこでは潜在意識的意識セルフ・エピグノシスのもっとも高いレベルにいたるまで、意識は本能的レベルにあります。私たちが意識のそのレベルから自分自身を解放し始める時、その時には墓と地面の上との間の距離を移動し始め、最終的には地面の上に立っている自分自身を見出すことになるのです。勿論最初は、自分がその距離を旅して、もはや地中にいるのではないことを認識するまでは、私たちは地表に横たわっているかもしれません。

いずれにしても、これはおそらく私たちが比較し始めるようになる時、その将来のためのワークです。しかし、それまでは私たちは正しいと思うことを何でも行わねばなりません。より高いレベルの表現に到達するためには、まずあなたは以前の気づきの意識が行おうとしていることではなくて、正しいワークに自分自身を慣れ親しませる必要があります。残念なことに、彼らはその方向、パワーと能力を表現する方向に向けてフォーカスしていました。それゆえに、彼らはより高い気づきのレベルの表現するための正しい方法を見出せなかったのです。そうです、彼らはテクニカルな手段を通じてパワーと能力を表現していましたが、それは彼らが墓の境界から自らを解放する助けにはならなかったのです。

質問：しかし、一般的には、過去の文明は気づきの上昇が進むべき道であることに気づいていたのではないですか？それは少数の人にしか知られていなかったのですか？

Ｋ：確かに、彼らにはその方向に向けて引っ張る何かが内側にありました。しかし、それはいわば現在起こっているのと同じレベルではありません。そのために彼らはお互いに闘っていたのでこれらの全ての文明が破壊されたのです。彼らは自分たちの利益のためにパワーと能力を使用していました。というのも、それら全てのパワーと能力は気づきの上昇の結果として得られたものではなかったからです。でも、人間はある程度まではそれらの人々によってさえも助けられていたのです。

* ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

エクササイズ　SPA.7/NO.3

静かに座り、心を騒がせているもの全てを解き放ちます…真っ白な自分をイメージし、自分の形の境界を感じます…あなたは純白であり、自分の形の境界を感じています…また、五芒星のなかで守られている自分を見てください…あなたは五芒星の純白の輝きのなかで守られています。

あなたは今美しい場所に座っています…あなたのすぐ前には美しい湖があります…水は水晶のように澄んでいます…湖水の表面はとても静かで滑らかです…まるで鏡のようです…それは鏡のように透明ですが、しかしあなたは湖の水のわずかな動きでもわかります…湖の遠く離れた水の動きでもあなたにはわかります…あなたは湖の前に立っており、湖水はすぐそばにいます…湖水に向かって数歩歩いて、水の中に入ってみたいと思っています…数歩…数歩進み、今や右足を前に出すとあなたは水の中に入りますが、でも何が起きているのでしょう…あなたの片足が水のなかに入る代わりに…今あなたは右足で水の上に立っています…あなたの右足は水のなかではありません…あなたは水の上に立っています…次は左足です。あなたは今やこのエレメントの上に立っています…あなたは水のなかに入っているのではなく…水の上に立っています…もう一歩前に進みます。あなたは今水の上を歩いています…五芒星があなたと共にあります…そうです…あなたは五芒星のなかにいます…今、水の上を歩いています…何の困難もなく歩いています…水はあたかも固体のようです…まるで凍っているみたいです…水は非常に透明で…鏡のようですが…あなたは歩いています…ある程度の距離を歩いた後…あらゆる方向を振り向き、周囲の光景を楽しみます…あなたは何と美しい場所にいるのでしょう…それでは、あなたが歩き始めた位置に向けて歩きます…もう数歩歩いて…今あなたは再び地面の上を歩いています…地球のもうひとつのエレメントです…180度回転すると、あなたは再び湖に面しています…何という美しさでしょう…今やこのエレメントはあなたにとって何の問題もありません…それはその上を歩く障害にはなりません。なぜなら、五芒星があなたにその能力を与えているので、そのエレメントを固体とみなすことができるのです…

あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います。

私たちは常に神、絶対、神の聖性に抱かれています…

* ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

質問：湖に右足から入り、次に左足を出すということには何か意味があるのですか？

Ｋ：右は何を意味しますか？

質問：…ロゴスの下降です。

Ｋ：そのためです。他の理由はありません。

質問：私たちが地面の下、墓の空間にいる時に、今や私たちは水の上を歩くことができます。それは…。

Ｋ：いいえ、やるべきワークはたくさんあります。無知のなかにある間は現在のパーソナリティーは死者とみなされます。それゆえに、無知のなかにある現在のパーソナリティーは墓のなかにおり、私たちはその無知の領域から自由になろうと努力する必要があるのです。私たちは今それを行おうとしているのです。現在のパーソナリティーがこの墓のドアーを開くために、墓から地表まで必要な距離を旅するために、地面の上に立つために、そしてもはや現在のパーソナリティーが土に囲まれ、土にフォーカスすることのないように…そのための必要な助けを現在のパーソナリティーに行うのです。

私たちは常に神、絶対、神の聖性に抱かれています。

EREVNA/SPA.NO7/DOC/KE5PYR8/SE

＊エクササイズについての注意

あなたが受け取るエクササイズは、毎月行う必要があります。与えるエクササイズを行い、そして必要なエーテルを感じます。これらのエクササイズは特定の結果を達成するための実践エクササイズであり、それを物質化するには時間がかかります。ですから、まだ決してそれを完全にやり遂げたという幻想に陥らないでください。なぜなら、私たちはまだ地面の下でワークしているのですから！